

5 学習習慣の確立

< 熊本県学力調査意識調査B結果から >

宿題を出している先生方は、県平均よりも多くおられます。しかし、学習時間については、授業のある日の一日あたりの学習において県平均よりも3ポイントも多くなっています。

基礎的・基本的事項を定着させるためには、家庭学習の習慣を付ける必要があります。

	上益城	熊本県
小学校	91.8%	91.1%
中学校	72.0%	68.9%

< 設問：宿題は出していますか >

	上益城	熊本県
小学校	20.1%	17.1%
中学校	12.2%	13.1%

< 設問：授業のある日、勉強をどのくらいしますか。30分未満の割合 >

< 広安西小学校の実践例 5・6年生版 >

広安西小学校
5・6年生 **家庭学習の手びき**

家庭学習の **3** ポイント

継続は力になるんだもん！

ポイント 1 予定を立て、計画的に学習をしよう。～学習時間を決めて～
自分で予定を立てて、自力で学習を進めるようにしましょう。
その日の予定を立て、必ず学習する時間帯を決めましょう。
予定通りにできないこともあります。続けることが大切です。

ポイント 2 もう一度、自分の生活習慣をふり返ってみよう。～生活リズムを～
生活のリズムが乱れると、勉強にも集中できなくなります。
睡眠・食事・運動を大切に、毎日を元気に過ごしましょう。
家族の一人としての役割(仕事)を持ちましょう。

ポイント 3 毎日の積み重ねを大切にしよう
「自学ノート」を宝物に ～自分だけの宝づくり～
「自学ノート」に取り組みましょう。自分で進んで学習できる力がつきます。
自学ノート(室のノート)として、学習の足あとを残しましょう。
何冊のノートが残せるか、チャレンジしましょう。

保護者の方へ

この時期の子供たち… 一人前に接してもらっているが、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

認め・励ましましょう 「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊心を高めていくには、認めたり、励ましたりすることが大切です。家族の一員として、手伝いや役割を決め、家庭などで学習した内容を生活の中で活かすことができるようにしましょう。学習計画の内容を家族も理解し、決まった時刻に学習できる環境をつくることを第一に、ノートなど大人も協力していきましょう。

益城町で作成された「家庭学習の手引き」を学校独自のものに修正され、活用されています。

家庭学習の充実に、町ぐるみで取り組まれています。



保護者へのメッセージを載せることで、保護者がどのように声をかけたらいいかや、対応の仕方が分かり、そのことが子どものやる気につながります。

家庭でも、いつも目に付くところに掲示しておくといいですね。

【家庭学習のアイデア例】

右は、生活ノートの例です。下校指導の際に記入し、帰宅後や明日の予定を立てます。学校・家庭・子どもの三者をつなぐ役割も果たします。形式は、学年で系統立てて作成するといいですね。(上益城教育事務所作成)

()月()日()		おうちの人のサイン		
持って来るもの	①音読「	サイン	わすれものゼロ	かかりのしごと
	②国語			
	③算数			
	④自学			
	内容「			
日記				
明日のよてい				